

一般社団法人日本地域看護学会
2021年度第2回理事会議事録

- I. 日 時 2021年7月24日(土) 15:00 ~17:00
- II. 会議形態 Zoomによるオンライン会議
配信元:株式会社ワールドプランニング会議室(東京都新宿区神楽坂4-1-1)
- III. 出席者 理事長 宮崎美砂子
副理事長 荒木田美香子, 田高 悦子
理 事 秋山 正子, 石橋みゆき, 石丸 美奈, 大木 幸子*, 大森 純子,
蔭山 正子, 岸 恵美子, 北山三津子, 小西かおる, 田村須賀子,
永田 智子, 春山 早苗
監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代
事務局 筒井 愛, 野田 智己 (*印は欠席者)

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

IV. 議 事

審議事項

1. 前回理事会議事録について(宮崎理事)資料1-1~1-2
2021年度第1回理事会議事録案および2021年度からの理事・監事候補者による懇談会議事録案の内容を確認し、これを承認した。
2. 理事会の2021年度活動計画について(石丸理事)資料2-1~2-2
2021年度の活動方針および理事会開催日程、予定議題等を確認し、これを承認した。
3. 委員会の2021年度活動計画について
 - 1) 編集委員会(永田理事)資料3-1
英文の投稿論文の投稿・査読体制の明確化を行うこと、JANAのCOI作成委員会に引き続き参加し、必要に応じて学会としての対応等を理事会に確認していく旨を報告した。
 - 2) 研究活動推進委員会(大森理事)資料3-2
セミナーを2022年3月に開催すること、その際に会員拡大に向けて広報委員会とも連携予定である旨を報告した。テーマや日程等は委員会で検討し、理事会に諮ることとした。
また、過去のものを含めてセミナー動画をアーカイブ化し、学会HPで公開することについて検討している旨を報告した。
 - 3) 広報委員会(田村理事)資料3-3
HPの内容確認と充実を行うこと、関連する学会に本学会のバナーの相互リンクの掲載を打診すること、新規会員の獲得を目的に地域包括支援センターへの広報活動を行うことについて報告した。
 - 4) 教育委員会(岸理事)資料3-4
「地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」を学会HPに掲載したことに引き続き、今年度の活動計画として、実際に教育内容に反映されているかを検証し、各教育機関に対して授業案や演習例等を提案することを報告した。また、HPに掲載する際に、広く一般に公開するか、会員限定とするか等について、継続して検討する旨を報告した。
 - 5) 国際交流推進委員会(小西理事)資料3-5
第24巻第1号に英文ニュースレターNo.20を掲載した旨を報告した。
2022年6月21~22日にスウェーデンにて開催される国際地域看護学会(ICCHNR)の詳細などを確認し、メールマガジン等で会員へ情報提供することについて報告した。
 - 6) 表彰論文選考委員会(北山理事)資料3-6
2020年度論文賞として、優秀論文賞1編、奨励論文賞2編を選定したこと、2021年度は、選考の第一段階である役員・代議員の投票率の向上を目指すことについて報告した。

7) 災害支援のあり方検討委員会（春山理事）資料 3-7

第 24 回学術集会にて、ワークショップ「保健師教育における健康危機管理の教育方法；指定規則の改正及びコロナ禍の経験を踏まえて」を実施予定であること、他学会と連携し、災害支援、健康危機における支援活動を行う予定であることを報告した。

4. 新規ワーキンググループについて（宮崎理事）資料 4

魅力ある学会づくりや本学会の特徴の明確化と共有、潜在している会員のニーズの発掘と学会活動への連動、学術団体としての役割等、本学会が強化すべき課題に対応することを目的とし、1年間の期限で「活動推進エンジンチーム」と「次世代研究活動推進チーム」の新規ワーキンググループを立ち上げる旨を報告し、活動を開始することとした。資料を基に、ワーキンググループの趣旨やメンバー案のほか、年度末に評価を行い、来年度以降の方向性について検討すること、予算は予備費を充てることと等を説明した。

5. 委員会の委員について（宮崎理事）資料 5

資料を基に、委員会の委員候補者を確認した。表彰論文選考委員会およびワーキンググループを除き、原則として委員の重複を認めていない方針であることから、編集委員と教育委員に重複していた表氏は編集委員に任命することとし、教育委員会には、秋山理事に委員を任命することとし、2021～2022 年度委員会委員を承認した。

6. メール審議内規（案）について（石丸理事）資料 6

メール審議の位置付けを明確にすることを目的に、メール審議内規（案）を作成したことについて報告した。原案ではメール審議の回答がない場合は「棄権」とすることとしていたが、「棄権」でなく全員一致による決議が望ましいとの意見があり、他学会の内規等も参考にして、引き続き検討することとした。

7. 入退会者申請者について（石丸理事）資料 7、別紙資料

入会申請者 26 人、退会申請者 7 人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者については宮崎理事長と田村理事を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

8. その他

1) 2021 年度全公連総会時のシンポジウムでの発表について

2022 年 3 月 26 日（土）に開催予定の全公連総会時に実施するシンポジウムへの講演依頼があり、検討の結果、災害支援のあり方検討委員会委員長の春山理事を推薦することとした。

報告事項

1. 第 24 回学術集会について（岸理事・宮崎理事・石丸理事）資料 8・当日資料

第 24 回学術集会の進捗について報告した。前期登録の参加者が 413 人であることから、600 名を目標に引き続き後期登録での参加を呼び掛けている。また、ライブ配信当日は、東邦大学を拠点に、実行委員を中心に運営する旨を報告した。

その他、理事会企画セミナーには乙部由子氏（元名古屋工業大学 特任准教授／特定非営利活動法人ウイメンズボイス 理事）を迎え、オンデマンド配信を行うこと、会員報告会は、学会誌へ学会だよりを掲載し会員への報告に代えること、表彰論文授賞式と名誉会員授与式についてはライブ配信にて表彰式を行う旨を改めて確認した。表彰式の司会は田高副理事長が務めることとし、表彰状は事前に郵送したうえで、受賞者・名誉会員にコメントを依頼すること、Zoom の設定等について決定した。

2. 第 25 回学術集会について（田村理事）

第 25 回学術集会の進捗について報告した。現時点では対面での開催を目指しているが、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、Web 配信の併用についても検討予定である旨を報告した。

3. JANA 社員総会・意見交換会について（田高理事）資料 A-1,2,3

6 月 19 日に開催された JANA の社員総会および 5 月 29 日に行われた意見交換会について、出席者の田高理事より、資料を基に報告がなされた。

4. 全公連 2021 年度第 1 回総会（田高理事）資料 B

6 月 25 日に開催された全公連 2021 年度第 1 回総会について、出席者の田高理事より、資料を基に報告がなされた。

5. その他

1) 次回理事会の日程について（宮崎理事）

2021 年 10 月上旬に次回理事会を開催することとした。